

平成 18 年 3 月 28 日  
新日本製鐵株式會社

### 低炭鉛フリー快削鋼線材の本格採用について

当社が環境対応型商品として開発しました低炭鉛フリー快削鋼線材が、富士ゼロックス株式会社殿をはじめとした大手OA機器メーカーのプリンターシャフト、並びに自動車部品（ブレーキ部品、自動変速機部品）に、世界で初めて採用されました。

当社は、この商業生産開始に伴い低炭鉛快削鋼（代表規格：AISI12L14、SUM24L）の製造を中止することと致します。

今回のプリンターシャフトへの適用は、社内GREEN調達基準を策定された富士ゼロックス株式会社殿の全面的なご協力のもと改良を進めてきた結果、切削性・メッキ性で現行の低炭鉛快削鋼と同等レベルとの評価を受けると共に、メッキ性においては他社開発材の低炭鉛フリー快削鋼よりも良好との評価を得て、採用が決定したものです。その他の大手OA機器メーカーでの採用も決定しており順次使用量を拡大していく予定です。

また、プリンターシャフトよりも高い切削性を求められる自動車部品（ブレーキ部品、自動変速機部品）にも世界で初めて採用が決定し、幅広い分野で数多くのお客様から実用化可能との評価を得ております。

製造業を取り巻く内外情勢を見渡しますと、日本のみならず世界規模で地球環境負荷物質の軽減が最重点課題のひとつとして認識されており、各業界で具体的な対策が盛んに検討され実行へと移されております。当社は、既に発布されているEU規制の遵守に止まることなく、環境負荷物質の軽減・撲滅を経営の最重点課題のひとつと位置付け、これまでも様々な活動を展開して参りました。今後も当社としましては、万全な体制を整え、低炭鉛快削鋼から低炭鉛フリー快削鋼への切り替えを進めていく予定です。

尚、既に機械構造用鉛快削鋼棒鋼・線材についても、お客様との間で鋼種（開発鋼種・既存鋼種）切り替えの検討に着手しており、今後、鉛快削鋼の全面的製造中止に向け検討を進めていきたいと考えております。

（お問い合わせ先）

総務部広報センター 鈴木  
TEL 03-3275-5021

以上

(参考) 採用部品例

1. プリンターシャフト



2. バルブシートボディ (オートマチックトランスミッション内のソレノイドバルブ関連部品)

